

西表在来植物の植栽で地域振興を進める会

西表島海岸での原風景・藻場回復と環境教育： 在来海浜植物の植栽・ウミガメ食害防止

活動地域  沖縄県西表島祖納海岸



ウミガメ食害防止柵の設置

課題

沖縄県の多くの海岸では外来植物が繁茂し、漂着ゴミが散乱している。西表島ではウミシヨウブ藻場がウミガメの食害で危機的な状況（藻場生態系が危機的な状況）にある。

目標

祖納海岸で原風景が回復され（外来植物フリー）、藻場がウミガメ食害前に回復する。当活動を参考に沖縄県の海岸で原風景が回復し、八重山のウミシヨウブ藻場が回復する。



今後の
展望

祖納海岸での原風景は回復できたので、維持活動を継続する。藻場の回復には行政による活動が必須で、この活動を環境大臣に助言した。これによる対応をみて、次の活動を決める。

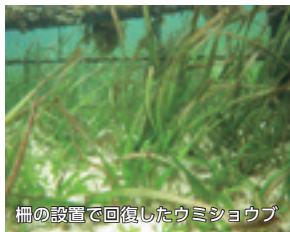
はじめる助成

1年目

実践

活動内容と成果

西表島祖納海岸で二つの課題に取り組んだ。外来植物が大量に繁茂した砂浜を原風景に戻す活動では、木本を含む外来植物をほぼ完全に駆除し、在来海浜植物を植栽した。回復した景観は観光客等に好評である。ウミガメの食害で極めて危機的な状況となったウミシヨウブ藻場回復の課題では、32m四方の食害防止柵を設置した。設置柵内でウミシヨウブの急速な回復、多種の魚とイカ卵塊が観察され、防止柵の有効性が証明できた。一方、活動中に柵内で食害が生じ、予算枠を変更して柵の改修を行った。藻場危機を多くの方に知っていただく活動も進めた。



柵の設置で回復したウミシヨウブ

海岸植栽率 **100%**

毎月のウミシヨウブ
観察・ウェブ公開 **12回**

今年度計画の達成度 **98%**

目標達成度 **98%**

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

申請時に計画した食害防止柵では対処しきれず（予想を超える食害行動）、当初の予算を大幅に変更し、追加の策を講じた。

■ 工夫した点

危機的状況の藻場の回復には、危機状況を広範に知っていただく必要があり、これに努めている。

〒907-1542
沖縄県八重山郡竹富町西表671
番地
電話：090-5286-0906
E-mail：nqf31226@nifty.com
HP：http://iriomote.image.coocan.jp

